

(4)水産

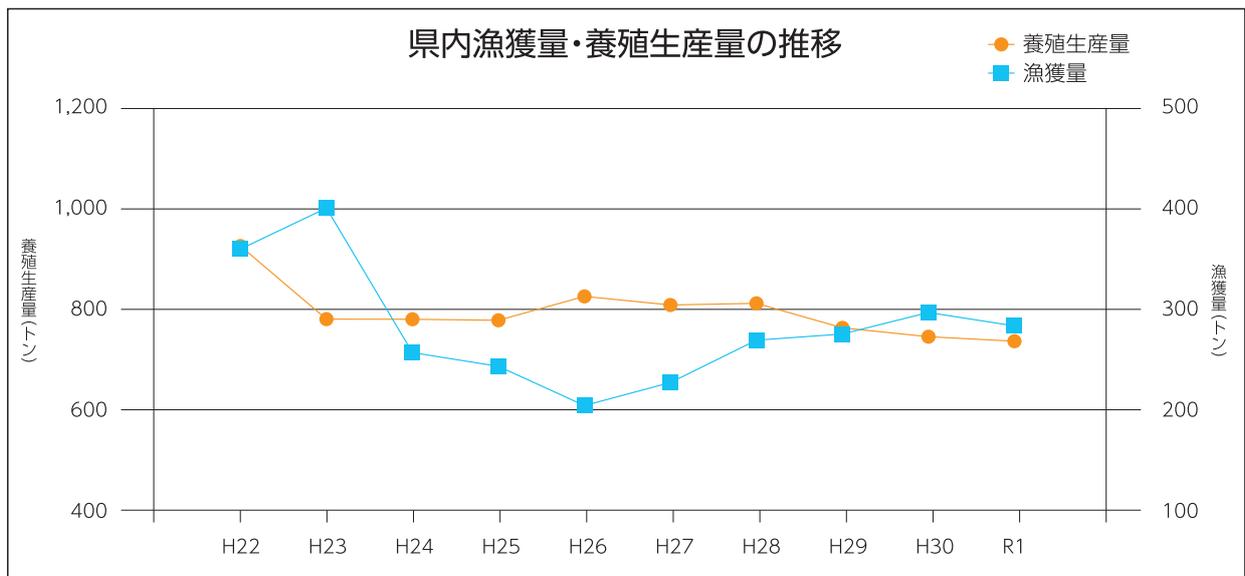
本県の漁業は、川や湖で盛んに行われ、アユの漁獲量は全国第3位(令和元年)、釣り人が購入する遊漁承認証の発行枚数は約10万枚と全国第8位であり、中でもリピーターが利用する年間券や期間券は全国有数の発行枚数となっています(平成30年漁業センサス)。また、観光やなの観光客入込数が28万人余り(令和元年観光客入込数・宿泊数推定調査)に上るなど、地域の観光資源として地域経済にも貢献しています。

一方、養殖業では、主にアユやマス類が生産され、令和元年のアユの生産量は全第4位、ニジマスは全国第5位と上位に位置しており、主に県内観光地向けに出荷されています。

本県の内水面漁業の振興とそれに伴う地域活性化を目的に、平成29年5月に内水面漁業振興基金を創設し、漁業協同組合等が実施する釣り教室や魚のつかみどり、販売促進イベントへの出展などの事業を支援しています。

福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質については、ほとんどの地域及び魚種で食品の基準値を安定的に下回るようになっており、漁獲を制限している中禅寺湖においても、平成28年10月にヒメマス、令和3年1月にはニジマスの解禁延期要請をそれぞれ解除しました。

県では、引き続き、放射性物質のモニタリング検査と調査研究を続けていくとともに、現状に適切に対応するため、地元漁協が行う「キャッチ&リリース」による漁場運営等を支援していきます。



川や湖の漁業の観光・レクリエーション資源としての利用状況

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
年間券 発行枚数(枚)	群馬 42,381	岐阜 40,451	栃木 37,773	静岡 29,516	長野 24,488
期間券 発行枚数(枚)	福井 5,692	長野 5,267	栃木 4,413	宮崎 4,198	青森 3,447
漁業体験* 延べ参加人数(人)	宮崎 10,504	栃木 3,599	富山 3,164	山梨 2,222	奈良 2,180
魚食普及活動* 延べ参加人数(人)	北海道 34,072	千葉 5,590	栃木 4,205	神奈川 3,618	大阪 3,570

※漁業協同組合が行ったもの

(平成30年漁業センサス)